

令和7年度第4回旭川市公立大学法人評価委員会 会議録（案）

日 時	令和8年3月16日(月)午前9時00分～10時00分
場 所	旭川市総合庁舎7階 会議室7B
出 席 者	○五十嵐委員、大野委員、長澤委員(オンライン)、中島委員、矢久保委員（五十音順） ○事務局：熊谷総合政策部長、鈴木公立大学課長、塚本補佐、水野主査 ○公立大学法人旭川市立大学（以下「法人」という。） ・守屋局長、上代事務局付次長、
欠 席 者	なし
公開・非公開	公開
傍 聴 者	0名（市民等：0名、報道機関：0名）
会 議 資 料	【資料】 ・次第 ・1 公立大学法人旭川市立大学中期計画 ・2 旭川市立大学中期計画の変更に関する意見一覧 ・3 旭川市立大学及び短期大学部 令和8年度(2026)志願状況 ・4 新校舎外観 ・5 評価委員会全体スケジュール(想定)
会 議 内 容	
1 開会	
熊谷部長	○4回目の評価委員会への出席について感謝する。 ○公立大学法人からは、守屋事務局長、上代次長にも出席いただいている。 ○昨年の第3回会議では、法人の中期目標の設定について審議がなされ、目標の変更について意見はなかったが、その他の意見として「年度ごとの評価では、新学科に関する事業の成果をより多く記載していただきたい」と法人にとって励みになる意見があった。第4回定例議会で中期目標の変更に係る議決を得ることができている。 また、現在行っている市議会予算委員会において議員から大学に関する質問があり、新学部に関する期待や教育研究機関としてのさらなる充実を期待するものである。 委員には活発な意見をお願いします。
2 報告（1）委員の退任及び新規就任について	
委員長	○欠席者がおらず会議開催に係る定足数を満たしている状況にあるので会議を進める。 ○委員の退任及び新規就任について事務局から説明願う。
事務局	○昨年11月に2名の委員が退任され、新たに2名の委員が就任された。二人から挨拶願う。
委員	○（委員挨拶）
委員	○（委員挨拶）

3 議事（１）公立大学法人旭川市立大学中期計画の変更について	
委員長	<p>○法人の中期計画の変更について、会議の前に委員に確認してもらい質問を取りまとめたが、大学を良くしたいという思いが伝わってくるものだった。</p> <p>○事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>（資料１－１から３まで説明）</p> <p>○中期目標変更に伴う中期計画の変更内容について説明する。</p> <p>○資料１について、令和８年４月から地域創造学部が開設し、中期計画に位置付けるため所要の内容を追加及び見え消しで明示した。</p> <p>○「第３ 教育研究上の基本組織」において、旭川市立大学の箇所に地域創造学部を追加した。</p> <p>○「第３ 教育研究上の基本組織」において、短期大学部の学科を幼児教育学科からこども地域学科に変更した。</p> <p>○「第４ 教育等に関する目標を達成するための措置（２）学生及び卒業生への支援に関する目標を達成するための措置」において、地域創造学部に関する箇所を追加した。</p> <p>○「第１２ 予算、収支計画及び資金計画」において、地域創造学部の開設により令和８年度から毎年１００名ずつ学生が増加する要素を盛り込んだ令和８年度から１０年度の計画を追加した。中期計画の変更については以上である。</p> <p>○資料２は、法人の中期計画の変更案に対し、委員からの事前の意見及び法人の対応や質問に対する回答を一覧にまとめたものである。</p> <p>○資料３は、旭川市立大学及び短期大学部の志願状況の一覧である。</p> <p>○資料４は、令和８年１月に完成した新学部校舎の外観である。</p>
委員長	<p>○事務局から旭川市立大学中期計画の変更案及び大学・短大の志願者数、新学部の校舎について説明があった。</p> <p>○資料２ 委員の意見一覧について、各委員から発言をお願いする。</p> <p>○No.1の短期大学部の学科名変更について、学科の内容は変わらないということによいか。</p> <p>No.2の、学科名称変更の理由について説明願う。</p>
事務局	<p>○名称変更しても学科の内容に変更はない。</p> <p>○資料「名称変更の概要」にあるとおり、幼児教育学科は地域の子どもや保護者への支援、関係機関や専門職との連携や協働を行ってきており、対象は幼児だけでなく１８歳未満の児童であった。従来から実践してきた地域との連携と協働を意識した学びを地域社会に明示していくために「こども地域学科」へ名称変更したものである。</p>
委員	<p>○No.2の意見は、資料に記載している幼児教育学科をこども地域学科に変更した理由を、中期計画にも記載してはどうかという主旨である。地域創造学部についても、新規認可に伴い追加した旨を記載したほうがよいのではと考える。</p>
委員長	<p>○今回の中期計画の変更案に意見を盛り込むことはスケジュール的に可能か。</p>
法人	<p>○意見を中期計画に盛り込むことは、可能である。</p>
委員長	<p>○それでは中期計画に盛り込むことでよろしいか。</p>
委員	<p>○よろしい。</p>
委員	<p>○No.4の市立大学の卒業生は、１人でも多く地域に残ってほしいということが経済界の希望である。「第４（２）学生及び卒業生への支援に関する目標を達成するための措置」において、保健福祉学部は市内・近隣町への就職率を目標として</p>

	掲げているが、経済学部、地域創造学部は同様の記載がない。地域創造学部はカリキュラムでも「地域との連携」としているの、可能であれば就職率等の指標を記載することを検討できないか。
事務局	○現中期計画の終期である令和10年度は、地域創造学部の卒業生を輩出できないことから、適切な指標については次期中期計画において設定する予定と伺っている。
委員長	○学生の意向があるので難しい部分もあるが、目標があればそこへ近づけていく動きもあると思うので、可能なら記載することを検討していただけないかとの意見と思う。
法人	○中期計画は評価の対象になることから、地域創造学部についても実績や情報収集の結果を踏まえ適切な時期に指標を設定したい。
委員	○No.8「第4(3)教育に関する目標を達成するための措置」の地域創造学部(3)において、地域創造学部の学びとして重要と思われる課題発見能力の育成が記載されていない。中期計画の文言に明示はしていないものの、内容にその意が含まれているとのことだが、明示してはどうか。
委員長	○中期計画に課題発見能力の育成を記載することについて、検討してはどうか。
法人	○中期計画への追加記載を検討する。
委員	○No.11の意見について、大学が実績報告書を出して評価委員会で評価するとき、実施する内容を具体的に記載した方が評価しやすいのではないかと。 ○目標値KPIは、意欲的な目標を掲げて結果として目標を達成できなかったとしても、達成に向けた取組があるなら評価することができる可能性がある。逆にクリアが容易な数値を設定し達成しても、よい評価とすることは難しいのではないかと。 このような具体的な表記にしてはどうかという意見である。
委員長	○評価委員会で評価するとき具体的な記載があることが重要であるということだと思ふ。
法人	○以前の評価委員会でもあった意見であり、次の年度事業報告を行う際は学内で検討していきたい。 ○なお、休退学について、経済的事情による原因以外に、人間関係や精神的なものを原因とする学生に対して、カウンセラーや学生相談室を充実させることなどを次の計画で対応したい。
委員	○No.18の意見について、「優秀な教職員を人事計画に沿って増員する」ことについて、収支計画に反映されているかという質問に対し、「特別な予算については、次期中期計画への反映」との回答だった。「特別な予算」とは、従来の予算と別に予算を配分するという事なのか。
法人	○新学部設置に伴って令和8年度に教員は増える予定であり、その人件費は今回変更する令和8年度から10年度の収支計画に含めている。資料2 事前質問に対する回答の記載内容が適切ではなかったと思う。
委員長	○ほかに何か意見はないか。
委員	○8ページ 第9(2)経費節減に関する目標を達成するための措置(1)の「全職員がコスト意識を持ち～」の「全職員」は教員を含むのかどうか。 ○次に9ページ、第11(2)危機管理に関する目標を達成するための措置(4)の「新型コロナウイルスへの感染対策」は、コロナウイルスに限定しなくてもよいのではないかと。

法人	○本学において「全職員」とは教員を含むが、わかりやすい表現を検討したい。
委員	○他の事例では、「職員」と呼ぶときは教員も事務職員も含めた意味である。一般的には教員も事務職員も合わせて職員と理解しているが、呼び方について大学でルールを決めておけば混乱しないと思う。
委員長	○中期計画の変更箇所以外でもいただいた意見について、可能な限り修正した方がよろしいのではないか。
法人	○検討したい。
委員長	○中期計画に関する審議は終了する。評価委員会からの最終的な意見については、法人側と私とで協議し整理したいがよろしいか。 ○（委員了承） ○事務局からほかに連絡事項があればお願いする。
事務局	○今後の流れについて説明する。 ○中期計画の変更案について委員長、事務局、法人で協議し整理したうえで認可する。 ○中期計画変更認可を法人へ通知後、令和8年度の年度計画を法人が作成する。年度計画は評価委員会への意見聴取事項ではないが、届出受理後、委員へお知らせする。 ○2名の委員が新たに就任されたので、評価委員会全体スケジュールについて説明する。 「中期計画認可に関する意見聴取」が本日の会議で審議があった内容である。令和8年度の「中間評価実施要領及び期間評価実施要領策定」は、令和8年度終了後の令和9年度に実施する中間評価に向けて要領を策定する予定であり、その際にはお知らせする。
委員長	○最後に何もなければ、進行を事務局にお返しする。
鈴木課長	○スムーズな会議の進行に感謝する。 本日の会議はこれで終了する。

以 上